

ESMPRO[®]/ClientManager

Ver4.0

【ユーザーズマニュアル】

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響について(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft とそのロゴ、MS、MS-DOS は米国 Microsoft 社の登録商標です。

Windows、Windows NT は米国 Microsoft 社の登録商標です。

Intel および LANDesk は米国 Intel 社の登録商標です。

ESMPRO と WinShare と Netvisor は日本電気（株）の登録商標です。

Copyright © NEC Corporation 2002,2003

《輸出する際の注意事項》

本製品（ソフトウェア）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等はおこなっておりません。

はじめに

本書は、Microsoft Windows 98、Windows Me、Windows NT、Windows 2000、Windows XP 上で動作する ESMPRO/ClientManager (ESMPRO/CM と略す)について説明したものです。ESMPRO/CM は、ネットワークに配置されたクライアント PC の一括集中管理を実現するシステム管理製品です。

本書の構成は以下の通りです。

章	タイトル	内容
1	ClientManager とは	ClientManager の目的
2	ClientManager の機能概要	ClientManager の機能概要
3	動作環境	ClientManager の動作に必要な環境
4	ClientManager の導入	ClientManager のセットアップ
5	設定ツール	ClientManager の基本設定
6	CM データビューア	CM データビューアの画面説明
7	CM 管理ツール	CM 管理ツールの画面説明
8	WEBACCESS	WebAccess 機能の説明
9	統合ビューア	オペレーションウィンドウとアラートビューアの説明
10	WinShare	WinShare(リモート制御機能)の説明
11	WSFT	WSFT(ファイル転送機能)の説明
12	プロセス監視	プロセス監視機能の説明
13	コマンド実行ツール	コマンド実行ツールの画面説明
14	その他のツール	各種ツールの説明
15	運用手順	ClientManager の運用操作の説明
付録 A	ClientManager SDK	SDK の説明
付録 B	用語集	本説明書で使われる用語の説明
付録 C	トラブルシューティング	障害発生時の確認事項の説明
付録 D	管理項目一覧	ClientManager で管理する項目の一覧
付録 E	ポート番号一覧	ClientManager で利用するポート番号の一覧

本マニュアルでは、次のような表記の規則や記号を用いて説明しています。

■ マウス操作の表記

表記	説明
プレス	マウスの（左）ボタンを押すことです。
リリース	プレスしたボタンをはなすことです。
クリック	マウスのボタンをプレス後すぐにリリースすることです。
ダブルクリック	マウスのボタンを素早く連続して2回クリックすることです。
ドラッグ	マウスのボタンをプレスしたままの状態のマウスを移動することです。
ドロップ	ドラッグ状態からリリースを行うことです。

■ キー操作の表記

表記	説明
[A], [F1]	キーはキートップ（キーの表示文字）を角カッコ（[]）で囲んで表します。
[CTRL] + [A]	プラス記号（+）は、キーの組合せを表します。例えば、[CTRL] + [A] は、[CTRL] キーを押しながら [A] キーを押すことを表します。
[RETURN]	改行を示すキー（左に曲がった矢印で表されることもあります）を表します。

■ ウィンドウ中の表記

表記	説明
[ファイル] メニューの [閉じる] コマンド	メニュー項目およびその中のコマンドは、[] で囲んで表します。
「メッセージ定義」	ウィンドウおよびダイアログボックスの名前は「」で囲んで表します。
< OK > , < キャンセル >	コマンドボタン名やツールバーのボタン名は、山形カッコ（< >）で囲んで表します。
[項目名]	ウィンドウおよびダイアログボックス中の項目の見出し文字、チェックボックスの表示文字及びオプションボタンの表示文字は [] で囲んで表します。

目次

1	C L I E N T M A N A G E R とは	1-1
1.1	C L I E N T M A N A G E R の目的.....	1-1
1.2	C L I E N T M A N A G E R の特徴.....	1-2
1.3	C L I E N T M A N A G E R の提供機能.....	1-3
1.4	C L I E N T M A N A G E R のシステム構成.....	1-4
1.4.1	基本システム	1-5
1.4.2	中継エージェント	1-6
1.4.3	ネットワークインストール	1-7
1.4.4	WebAccess	1-8
2	C L I E N T M A N A G E R の機能概要.....	2-1
2.1	統合ビューアとの連携	2-1
2.2	構成管理.....	2-2
2.3	障害管理.....	2-3
2.4	リモート制御	2-4
2.5	C L I E N T M A N A G E R の処理の流れ	2-5
3	動作環境.....	3-1
3.1	CM マネージャ	3-1
3.2	CM クライアント	3-7
3.3	CM GUI.....	3-15
3.4	WEBACCESS.....	3-16
3.5	中継エージェント.....	3-17
3.6	NETINST	3-17
3.7	CM データベースエンジン	3-18
3.8	OFF STATE ALERT.....	3-19
3.9	注意・制限事項.....	3-20
4	C L I E N T M A N A G E R の導入	4-1
4.1	導入の概要	4-1
4.2	CM マネージャのセットアップの準備	4-3
4.2.1	Windows NT	4-4
4.2.2	データベースエンジンセットアップ	4-5

4.2.3 データベースの作成と ODBC (システムデータソース) の設定	4-16
4.2.4 ESMPRO ユーザグループ (NvAdmin グループ) の追加	4-106
4.3 CM マネージャセットアップ	4-107
4.3.1 インストール	4-107
4.3.2 アンインストール	4-119
4.4 CM クライアントのセットアップの準備	4-120
4.4.1 SNMP エージェントの組み込みと設定	4-120
4.4.2 レジストリサイズの確認と変更	4-132
4.4.3 DMI 製品のインストール	4-133
4.5 CM クライアントセットアップ	4-134
4.5.1 インストール	4-134
4.5.2 障害監視設定および通報設定	4-141
4.5.3 アンインストール	4-154
4.6 CM GUI セットアップ	4-155
4.6.1 セットアップ	4-155
4.6.2 統合ビューアとの連携	4-157
4.6.3 DB のメンテナンス	4-158
4.6.4 アンインストール	4-161
4.7 中継エージェントセットアップ	4-161
4.7.1 インストール	4-161
4.7.2 アンインストール	4-162
4.8 統合マネージャ中継	4-163
4.8.1 親マネージャへの接続	4-163
4.8.2 親マネージャとの接続解除	4-165
4.8.3 注意事項	4-166
4.9 クラスタシステム	4-167
4.10 ネットワークインストール	4-175
4.10.1 ネットワークインストールの機能	4-175
4.10.2 対象 OS	4-176
4.10.3 ネットワークインストールの注意制限事項	4-176
4.10.4 NETINST のセットアップ	4-178
4.10.5 ネットワークインストールの使用	4-187
4.10.6 ネットワークインストールのエラーメッセージ一覧	4-207
4.11 WEBACCESS の導入	4-210
4.11.1 インストール	4-210
4.11.2 アンインストール	4-214
4.12 エラーコード表	4-215

5 設定ツール	5-1
5.1 マネージャオプション設定ユーティリティ	5-1
5.1.1 CM マネージャオプション画面	5-2
5.1.2 CM データビューアオプション画面	5-3
5.1.3 統合マネージャオプション画面	5-3
5.1.4 データベースオプション画面	5-4
5.1.5 マネージャの情報画面	5-5
5.2 クライアント設定ユーティリティ	5-6
5.3 アラートマネージャ(設定ツール)	5-7
5.3.1 基本設定	5-10
5.3.2 通報先設定	5-13
5.3.3 監視 DMI イベントの指定	5-16
5.3.4 監視イベントの設定	5-18
5.3.5 監視 DMI イベントの設定	5-21
5.3.6 通報先の指定 (監視イベント)	5-23
5.3.7 通報先の指定 (監視 DMI イベント)	5-25
5.3.8 通報テスト	5-26
5.3.9 通報手段に応じた設定	5-27
5.4 中継エージェント	5-31
6 CM データビューア	6-1
6.1 画面構成	6-1
6.2 メニュー	6-3
6.2.1 ファイルメニュー	6-3
6.2.2 編集メニュー	6-4
6.2.3 表示メニュー	6-4
6.2.4 設定メニュー	6-5
6.2.5 ツールメニュー	6-16
6.2.6 電源メニュー	6-19
6.2.7 オプションメニュー	6-23
6.2.8 ヘルプメニュー	6-24
6.3 クライアント情報	6-25
6.3.1 コンポーネント ID	6-27
6.3.2 OS フォルダ	6-27
6.3.3 ヘルスインフォメーション	6-28
6.3.4 ハードウェアリソースフォルダ	6-30
6.3.5 システムフォルダ	6-30

6.3.6 I/O デバイスフォルダ	6-40
6.3.7 メモリマップド I/O フォルダ	6-48
6.3.8 IRQ フォルダ	6-49
6.3.9 記憶装置	6-50
6.3.10 パーティションフォルダ	6-52
6.3.11 拡張バスデバイスフォルダ	6-56
6.3.12 ネットワークフォルダ	6-57
6.3.13 ソフトウェア	6-60
6.3.14 パフォーマンス	6-60
6.3.15 ユーザ定義情報	6-63
6.3.16 共通ダイアログボックス	6-63
6.4 グラフビューア	6-66
6.4.1 メニュー	6-67
6.4.2 グラフデータの追加ダイアログボックス	6-69
6.4.3 グラフデータの編集ダイアログボックス	6-70
6.4.4 オプションダイアログボックス	6-71
6.5 CM データビューアカスタマイズツール.....	6-74
6.5.1 アイテム選択	6-74
6.5.2 アイテム表示位置の変更	6-74
6.5.3 カスタマイズ情報のファイルへの保存.....	6-75
6.5.4 現在の設定に戻す	6-75
6.5.5 既定値に戻す	6-75
7 CM 管理ツール	7-1
7.1 CM 管理ツールの起動.....	7-1
7.2 サーバと接続.....	7-1
7.3 メインフレーム	7-2
7.4 メニュー.....	7-3
7.4.1 「ファイル」メニュー.....	7-4
7.4.2 「編集」メニュー.....	7-4
7.4.3 「表示」メニュー.....	7-5
7.4.4 「クエリ」メニュー	7-6
7.4.5 「稼働情報」メニュー.....	7-10
7.4.6 「ソフトウェア情報」メニュー	7-14
7.4.7 「設定」メニュー.....	7-16
7.4.8 「電源」メニュー.....	7-21
7.4.9 「グループ」メニュー.....	7-23
7.4.10 「ツール」メニュー	7-26

7.5 ツールバー	7-27
7.6 CM データベース管理ツール (DB メンテナンスツール)	7-28
7.6.1 CM データベース管理ツールの起動	7-28
7.6.2 DB サーバと接続	7-28
7.6.3 メインフレーム	7-29
7.6.4 メニュー	7-30
7.6.5 ツールバー	7-34
8 WEBACCESS	8-1
8.1 WEBACCESS とは	8-1
8.1.1 機能概要	8-1
8.1.2 構成	8-3
8.2 WEBACCESS のセットアップ	8-4
8.3 WEBACCESS のアンインストール	8-8
8.4 WEBACCESS を使う	8-9
8.4.1 WebAccess の開始	8-9
8.4.2 スタートページ	8-9
8.4.3 データビューア (テキスト形式)	8-10
8.4.4 データビューア (2D-グラフィック形式)	8-13
8.4.5 グラフビューア	8-16
8.5 ESMPRO/SERVERMANAGER EXTENSIONPACK との連携	8-19
8.5.1 準備	8-19
8.5.2 データビューアのページを表示する	8-19
8.6 注意事項	8-21
9 統合ビューア	9-1
9.1 オペレーションウィンドウ	9-1
9.1.1 画面構成	9-1
9.1.2 メニュー	9-3
9.1.3 ツールバー	9-31
9.1.4 オペレーションウィンドウの基本操作	9-34
9.2 アラートビューア	9-51
9.2.1 画面構成	9-51
9.2.2 アラートログウィンドウ	9-52
10 WINSHARE	10-1
10.1 WINSHARE について	10-1
10.1.1 WinShare とは	10-1

10.1.2 画面構成	10-1
10.1.3 CM データビューアからの WinShare の起動.....	10-3
10.1.4 CM 管理ツールからの WinShare の起動.....	10-4
10.1.5 オペレーションウィンドウからの WinShare の起動.....	10-5
10.2 WINSHARE の操作.....	10-6
10.2.1 メニュー一覧	10-6
10.2.2 「接続」メニュー	10-7
10.2.3 「表示」メニュー	10-10
10.2.4 「ファイル」メニュー	10-11
10.2.5 「操作」メニュー	10-12
10.2.6 「コマンド実行」メニュー	10-15
10.2.7 「設定」メニュー	10-18
10.2.8 「ヘルプ」メニュー	10-26
10.2.9 コマンドラインオプション	10-26
10.2.10 NaviPad(ナビ・パッド)	10-29
10.3 WINSHARE ユーティリティ (VER3.0)	10-30
10.3.1 ユーティリティの起動.....	10-30
10.3.2 セキュリティ設定.....	10-31
10.3.3 ユーザの管理	10-34
10.3.4 ユーザを登録するには.....	10-34
10.3.5 アクセスホスト	10-38
10.3.6 ログ設定	10-41
10.3.7 ログ形式	10-44
10.3.8 表示枠.....	10-44
10.4 WINSHARE ユーティリティ (VER4.0)	10-46
10.4.1 ユーティリティの起動.....	10-46
10.4.2 セキュリティ設定.....	10-47
10.4.3 ユーザの管理	10-49
10.4.4 接続時の確認	10-54
10.4.5 共有領域	10-55
10.4.6 操作ログ	10-60
10.4.7 操作権.....	10-61
10.4.8 リモートコマンドの登録.....	10-63
10.4.9 表示枠の設定	10-65
10.4.10 アクセスホスト	10-66
10.4.11 ログ設定	10-70
10.5 WINSHARE を便利に使用する方法.....	10-73
10.5.1 高速にリモートPCを遠隔操作するには.....	10-73

10.5.2 高速にリモート P C の画面イメージを取得するには	10-73
10.5.3 遠隔操作時、確実に画面イメージの更新を行うには	10-73
10.5.4 低速回線でも快適に遠隔操作を行うためには	10-73
10.5.5 16 ビットアプリケーションを操作するためには	10-73
10.5.6 ユーザ指定のポート番号で WinShare を接続するためには	10-74
10.5.7 リモートコマンドの引数にオペレーション P C 名やリモート P C 名を指定するためには	10-75
10.5.8 セキュリティ設定を行うには (セキュリティ設定の優先順位について)	10-75
11 WSFT	11-1
11.1 画面構成	11-1
11.2 メニュー	11-4
11.2.1 接続メニュー	11-4
11.2.2 転送メニュー	11-5
11.2.3 リモート操作メニュー	11-5
11.2.4 表示メニュー	11-6
11.2.5 オプションメニュー	11-7
11.2.6 ヘルプメニュー	11-8
11.3 リモートシステムとの接続について	11-9
11.3.1 リモートシステムとの接続	11-9
11.3.2 セキュリティの設定	11-12
11.4 ファイル転送について	11-16
11.4.1 ファイル転送の方法	11-16
11.4.2 ファイル転送規則	11-18
11.5 オプション	11-20
11.5.1 オプション設定	11-20
12 プロセス監視	12-1
12.1 プロセス監視機能について	12-1
12.1.1 プロセス監視機能概要	12-1
12.1.2 プロセスロギング機能	12-1
12.1.3 プロセス状態表示機能	12-1
12.1.4 コマンド実行機能	12-1
12.1.5 不正プロセスアラート通知機能	12-1
12.1.6 プロセス監視の実行手順	12-2
12.2 プロセス監視機能を有効にするには	12-3
12.3 プロセス監視 GUI の起動	12-5
12.4 プロセスロギング機能	12-7

12.4.1 ログ設定	12-7
12.4.2 ログ表示	12-8
12.4.3 ログ形式	12-10
12.4.4 ログファイルの取得	12-12
12.5 プロセス状態表示機能.....	12-13
12.6 コマンド実行機能.....	12-16
12.7 不正プロセスアラート通知機能	12-19
12.8 SG 設定	12-20
12.9 注意事項.....	12-25

13 コマンド実行ツール..... 13-1

13.1 コマンド実行ツールとは.....	13-1
13.2 コマンド実行ツールを使用する前に	13-1
13.3 コマンド実行ツールの操作	13-3
13.3.1 コマンドを実行するには	13-3
13.3.2 コマンドの実行結果を参照するには	13-6
13.3.3 実行中のコマンドを中止するには.....	13-7
13.3.4 コマンドウィザードで、コマンドを登録するには.....	13-8
13.3.5 コマンドラインに指定可能な特殊文字.....	13-15
13.3.6 登録したコマンドセットを他の端末にコピー	13-16

14 その他のツール..... 14-1

14.1CM データベース作成ツール.....	14-2
14.1.1 CM データベース作成ツールの機能	14-2
14.1.2 手順	14-2
14.1.3 使用方法	14-6
14.1.4 制限事項	14-14
14.2 電源制御コマンド	14-15
14.3 アラートクリア(CMALTCLR)コマンド.....	14-17
14.4 リシンク(CMRESYNC)コマンド.....	14-19
14.5 アイコン登録(CMMKICO)コマンド	14-20
14.6 クライアント情報差分表示ツール	14-23
14.7 クエリ実行(CMQUERY)コマンド	14-28
14.8 CM クライアント削除(CMDELCL).....	14-32
14.9 CM クライアント情報表示(CMCDISP).....	14-35
14.10 簡易資産情報入力(CLIAS, CLIAS2).....	14-41
14.11 時刻同期コマンド(TMCL)	14-45

15 運用手順	15-1
15.1ESMPRO 統合ビューアとの連携	15-2
15.1.1 クライアント PC の登録.....	15-2
15.1.2 クライアント PC の自動発見	15-2
15.1.3 オペレーションウィンドウからの CM データビューアの起動	15-5
15.1.4 アラートビューアからの CM データビューアの起動	15-6
15.2 構成管理	15-7
15.2.1 構成情報の表示	15-7
15.2.2 クエリ（検索）	15-7
15.2.3 ユーザ定義情報の設定.....	15-20
15.3 死活監視	15-28
15.3.1 設定方法	15-28
15.3.2 死活監視の動作	15-29
15.3.3 注意事項	15-32
15.4 リモート制御	15-33
15.4.1 リモート操作	15-33
15.4.2 リモート電源制御.....	15-33
15.5 性能情報表示	15-34
15.6 性能監視	15-35
15.6.1 監視の設定.....	15-35
15.6.2 アラート	15-37
15.7 ハードウェア障害監視	15-39
15.7.1 監視の設定.....	15-39
15.7.2 アラート	15-40
15.8 性能記録	15-43
15.8.1 記録の設定.....	15-43
15.8.2 ログの採取.....	15-44
15.9CM 管理ツールによるグループ操作	15-45
15.9.1 グループ一覧表示.....	15-45
15.9.2 グループの追加	15-46
15.9.3 グループの更新	15-47
15.9.4 グループの削除	15-48
15.10 ソフトウェア配布(ESMPRO/DELIVERYMANAGER との連携)	15-49
15.10.1 適用先を選択している場合.....	15-49
15.10.2 クライアントを選択している場合	15-50
15.11 不要となったクライアントのデータの削除	15-52

15.11.1 CM データベース管理ツールの起動	15-52
15.11.2 DB サーバと接続	15-52
15.11.3 削除対象の選択	15-53
15.11.4 削除の実行	15-54
15.12 ファイル一覧の収集	15-54
15.12.1 収集の設定	15-54
15.12.2 収集結果の参照	15-55
15.13 アラートを E メールで通知	15-56
15.13.1 通知の設定	15-56
15.14 アラートをパトロールランプで通知	15-58
15.14.1 通知の設定	15-58
15.15 ESMRPO/ASSETMANAGER Ver5.2 へのデータエクスポート	15-61
15.15.1 インポートファイルの作成	15-61
15.15.2 AssetManager でのデータインポート	15-63
15.16 ESMRPO/ASSETMANAGER Ver7.1 へのデータエクスポート	15-65
15.16.1 エクスポートコマンドの準備	15-65
15.16.2 IP グループ情報の登録	15-66
15.16.3 ソフトウェア資産の登録	15-67
15.16.4 エクスポートコマンドの実行	15-68
15.16.5 注意事項	15-70
15.17 ESMRPO/NetInsight へのデータエクスポート	15-71
15.17.1 前提条件	15-71
15.17.2 ESMRPO/CM のデータをエクスポートする	15-71
15.17.3 ODBC の設定を行う	15-74
15.17. ESMRPO/NetInsight のデータベースに格納する	15-77

付録 A CLIENTMANAGER SDK	A-1
A.1 アラート SDK	A-2
A.2 ユーザ定義 SDK	A-5

付録 B 用語集	B-1
-----------------------	------------

付録 C トラブルシューティング	C-1
C.1 展開時/運用時	C-3
C.1.1 自動発見が行えない	C-3
C.1.2 CM データビューアが起動しない（統合ビューアから）	C-5

C.1.3 CM データビューアにコンピュータ名のみ表示.....	C-7
C.1.4 電源投入が行えない.....	C-11
C.1.5 電源投入時キーボードの入力が行えない	C-16
C.1.6 アラートが通知されない	C-17
C.1.7 死活監視が行えない.....	C-18
C.1.8 CM 管理ツールが起動しない	C-19
C.1.9 OFF state Alert の設定画面が選択できない.....	C-20
C.1.10 ベンダ定義トラップが表示される。	C-21
C.1.11 Cold Start トラップ等が表示される。	C-21
C.2 インストール時	C-23
C.2.1 データベースの初期化に失敗する	C-23
C.2.2 NETINST 運用管理で、<ユーザ情報更新> ボタンを押すと。エラーになる	C-26

付録 D 管理項目一覧..... D-1

D.1 CM データビューアの管理項目	D-2
D.2 データベース内の管理項目	D-12
D.2.1 値	D-12
D.2.2 構成情報のテーブル形式	D-14
D.2.3 ノードと DB テーブルの一覧	D-16
D.2.4 列挙型の一覧	D-64
D.2.5 管理情報のテーブル形式	D-90
D.2.6 検索の例	D-92
D.2.7 一覧の例	D-93
D.3 フィルタリング項目	D-97

付録 E ポート番号一覧 E-1

E.1 ポート番号一覧.....	E-1
E.2 利用されているポート番号の確認	E-4